

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・例規等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約
事業開始年度	平成17年度～	
総合計画	大項目 基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目 基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目 施策	15 し尿処理
事務事業名		02 和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業
このシート作成に要した時間		1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	吉永地域で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者	
目的 (何のために)	吉永地域にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理するため、和気赤磐し尿処理施設一部事務組合(備前市・和気町・赤磐市で構成)に加入し、負担金を納付している。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	組合で運営するし尿処理施設において、吉永地域のし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理する。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合で運営するし尿処理施設及び公園施設の建設費、管理・運営経費を構成市町で分担して納付する。	
目的を達成するため実施した事業		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	13,949	12,867	12,022
	必要人員(人件費)	千円	0.02人	0.01人	0.01人
	事業費	千円	14,156	12,974	12,132
決算額	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
一般財源		千円	14,156	12,974	12,132
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
し尿及び浄化槽汚泥処理量		説明	し尿処理施設の経常費負担金を活動コストとして、単位当たりのし尿・浄化槽汚泥の処理費用を算出		
結果指標	量	Kl	311.4	303.9	241.2
対前年	比	%	-	97.6%	79.4%
活動コスト		円	5,399,000	4,060,000	6,320,000
単位当たりコスト			17,338	13,360	26,202

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	目標値(A)					
	実績値(B)					到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
負担金は、規約に基づき均等割、人口割、利用量割によって算出されているが、吉永地域の下水道整備はすでに完了しており、今後利用量が大幅に変動することは望めない。また他の構成市町の動向にも左右されるため、成果指標を掲げることは難しい。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい  A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい  C
	有効性の評価	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい  C

進行年度(H25年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了							
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
説明	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約に基づき、し尿処理施設及び公園(吉井川ふれあいパーク)の建設費・運営費の負担金を納付する。 市単独でのし尿処理を行うため、組合脱退に向けた調整を行う。														

総合評価	
市では和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合に加入し、吉永地域のし尿・浄化槽汚泥の処理を委託しているため、今後も構成団体として施設の管理、運営費の負担金を納付しなくてはならない。 今後の方針として、現在備前地域・日生地域のし尿を処理している備前市衛生センターが老朽化によりH27年度中に新設される予定のため、これにあわせて組合を脱退し、吉永地域も含め全市統一でのし尿処理を目指しており、組合脱退による混乱が生じないよう、関係機関と十分な調整を行っていく必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい  B

平成26年度の方向性・取組目標		Action														
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了								
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
取組目標	市が運営するし尿処理施設(備前市衛生センター)の新設に合わせて、組合を脱退し、市単独でのし尿処理が可能となるよう、構成市町及び関係機関と調整を行う。															

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな